

第29号 編集後記



『ごみ情報誌へらすぞう』が大変身！！メンバーの平均年齢が若返り、誌面作りのアイデアも新鮮！皆様の参考になれば幸いです。（ごみ会議 C.S）

新しいメンバーとアイデアを出し合いながらより良い『へらすぞう』の編集をと、話し合いを重ねてきました。1つの事でもいろんな考え方がある事を改めて感じ考えさせられました。あきる野市が住みやすい町になるよう皆で日頃から議論を重ねて、誌面作りをしています。

（ごみ会議 K.T）

編集委員全員の思いが詰まった「へらすぞう」になりました。一読して捨てるのではなく、保管して何度も読み返していただき、皆さんの日々の生活にお役立てください。私のおすすめは「リサイクルトーク～衣類編～」です。インタビューにご協力いただいた方、ありがとうございました。（ごみ会議 M.E）

今年から新しいメンバーも増えて、熱い議論の中で衣服のリサイクルの現実や雑草の高刈りの事など初めて知ることも多く、私自身も勉強になりました。

そして「教科書のようにならないように」を念頭に編集を重ねてきました。興味深く楽しい「へらすぞう」になるよう少しでもお手伝いできてたら嬉しいです。（ごみ会議 M.I）

市民代表として、時に会議メンバーと激しい議論の末、無事完成できました。

（ごみ会議 S.M）

戦後 80 年の変化は大きい。ごみが不要な物という意味になったのもたぶんそう。ごみ＝資源という時代がまた来る。落葉も刈った草も剪定した枝も資源！「ごみ」という言葉が、いつかほめ言葉になりますように…（ごみ会議 M.S）